

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 8 月 21 日

多治見市議会議長 様



会派名 公明党

13 番議員 氏名 寺島 芳枝

質問題名	市民の命を守り、安心・安全に暮らせる多治見市を目指して
質問要旨	市民の安心・安全を守ることは市政を預かるものとして、最重要課題である。私たち公明党は、防災減災や医療、福祉等の観点から、多治見市が市民にとって安心・安全で暮らせるよう提案してきた。 しかし、そのためには、行政の力だけでなく、民間企業・団体そして何より市民の皆さんの協力や応援なくしては実現できない。また持続可能な政策ならなおさらである。 そこで、多治見市議会公明党として、市民の命を守り、安心・安全に暮らせる街にさらになっていけるよう、質問、提案する。
質問項目①	★防災士の増員で地域防災力の向上を ・令和6年度より実施された防災士認証取得補助制度の活用状況と取得に対する研修場所等はどのようになっているか。 ・本市の地域防災力向上セミナーを防災士取得講座に切り替え、試験は東濃3市（土岐市・瑞浪市）と合同実施としてはどうか。
質問項目②	★防災拠点である全小中学校へのエアコン設置を 防災拠点として、また児童生徒の活動の場として、全小中学校体育館への空調整備の導入は必須であると考えてるが、本市の見解を伺う。
質問項目③	★防災拠点の1つとしてバロー文化ホールの駐車場の拡張を ・多治見市の文化の拠点としてバロー文化ホールは大切な施設である。音響設備も整い、大ホール・または全館を使用しての催事時等における駐車場の使用状況はどうか。 ・バロー文化ホールの駐車場の拡大整備を行い、災害時には車中泊やペット同行避難時の補完場所等として、利活用が出来ると思うが、見解を伺う。
質問項目④	★福祉避難所の環境改善のための県補助金の積極的活用を 要配慮者の避難先としての福祉避難所の環境改善は必須である。そのための県からの補助金があるが、活用の予定はあるか。
質問項目⑤	★誰にも優しい認知症施策の推進を ・認知症は早期発見が重要なことから、軽度認知症（MCI）検査の導入を再度提案するが、見解はいかがか。 ・リスクがある方へのマネジメントの観点からも、ガバナンスがある機能向上の継続したプログラムの各地域での実施をもとめるがいかがか。 ・福岡市が認知症の方への介護の技法として、全市民対象に取り組んでい

	る優しさを伝える技法である「ユマニチュード」の技法を本市でも取り入れ、在宅介護の負担軽減、介護離職者の防止や住み慣れた地域で暮らし続けるための一助としてはどうか。 ・新設・増改築における公共施設等の案内表示やデザインを認知症の人にも分かりやすく優しいデザイン（認知症の人にもやさしいデザインの手引き）を参考にしてはどうか。
質問項目⑥	★女性の命を守る「HPV 検査」の導入を 女性特有のがんである子宮頸がんの主な原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）感染の有無を調べる「HPV 検査」が 2024 年度から細胞診に加え体制が整った自治体から公的検診として導入出来る様になったが、本市の導入の意向はどのようなか。
質問の相手方	市長 企画部長 子ども福祉部長